



1月の野菜研

あおもりの未来
技術でサポート

令和2年1月31日
地方独立行政法人青森県産業技術センター 野菜研究所

令和2年最初の月、1月に研究所内で行った作業等について簡単に紹介します。

春の圃場作業に向け冬場の準備

今回は、普段は裏方として試験研究を支えてくれている、技能技師の方々の冬場の仕事を紹介します。冬場は、圃場作業ができないため春から始まる作業に備え、機械の保守・点検等の整備、圃場の通路・建物等の補修作業等を行っています。機械の保守・点検では、簡単な修理、溶接、塗装等も行っていきます。左下の写真はトラクタ後輪部のタイヤカバー補修と点検・整備を行っているところです。右下の写真は、自転車を入れる自転車小屋を新たに建てているところです。圃場が広いので移動には自転車を利用して、風雨にさらされることがないように保管場所として建てています。

春からの圃場作業をスムーズに進めるため、冬場のうちに準備・作業を進めています。



令和2年1月30日撮影



令和2年1月31日撮影

第4回成績検討会を開催

令和2年1月10日に、当研究所で第4回成績検討会を行いました。栽培部、品種開発部、病虫部から合わせて27課題と指導参考資料候補の1課題について検討を行いました。新年早々の成績検討会のため、年末・年始の休暇明け直後から全力で、成績の取りまとめをして、検討会に間に合わせました。今回の検討会は、主に、ナガイモに関する試験についての検討を行いました。

検討会には今回も、JA、県庁等多くの方々に出席していただき、試験内容をしっかり検討していただきました。



令和2年1月10日撮影

連絡先: 野菜研究所

Tel 0176-53-7171 Fax 0176-53-8934

Email nou_yasai@aomori-itc.or.jp

ナガイモ原原種ハウス 新築等工事

ナガイモの原原種(むかご)生産用の大型ガラスハウスの新築、工事が10月から始まり、4か月が経過しました。

12月までは基礎部分の工事をだったため、進み具合がはっきりわかりませんでした。1月からは、基礎上部に鉄骨が組み上がり、ハウス全体の状況が分かるようになりました。ハウスの設計時には、報道等で鉄骨を接合する高力ボルトの不足が伝えられ、工事に影響が出ないか心配されましたが、高力ボルトを使う作業が無事に終わりました。1月は好天に恵まれたこともあり、予定どおり工事が進んでいます。



新築工事 令和2年2月3日撮影